



せのお ひろゆき 妹尾 博之議員



笠岡市民病院について

議員 経営改善の今後の具体的な取組みについてたずねる。

市長 来春をめどに4階看護ステーション廃止、入院病棟を2・3階に集約するよう取り組む。昨年の赤字2億2千万に対して1億2千万の改善見込みである。

議員 病院新築の進捗状況と厚生労働省の発表が病院建設にどのような影響があるかたずねる。

市長 新しい病院の機能・病床数・運営形態・場所等を盛り込み、本年3月までに案を策定する予定である。厚生労働省から再編すべき病院と発表されたが、問題提起と受けとめ、影響はない。今後、近隣病院・医師会・県など関係機関と機能分担・ネットワーク化などと協議しながら建て替えを進める。

議員 ベッド数を減らし、建て替えを進める方向ならば、厚生労働省の発表に含まれている、井原市、矢掛町の首長と協議したのか。

市長 協議はしていない。

議員 救急に対してはどのように考えているのか。

病院管理局長 基本構想の中で救急機能もあわせて検討予定。

議員 病院の建設プロジェクトの組織体制についてたずねる

副市長 私が委員長をしており、3回会議をした。

議員 もう少しスピードを上げ、広域性を持った上で、情報収集をお願いしたい。



ひがしかわ さぶろう 東川 三郎議員

主要事業の検証！ 企業誘致・健康寿命・小中一貫教育について

議員 地場産業の育成と企業誘致の実績と雇用人数、経済効果、今後の見込みをたずねる。

市長 笠岡市の地域経済の活性化は、重要かつ急務である。親子2世代、3世代が一緒に暮らすことができること、そこに働く場所があることを念頭に置き、企業誘致により働く場所を増やし、地域経済の活性化を図ることは、私の強いテーマである。岡山県宮港町工業用地に計14社400人以上の雇用が見込まれる。

議員 健康寿命がどの程度伸び、高齢者の生活や意識にどのような変化が起こったのか。

市長 健康寿命は、3年間で男性は0・62歳、女性は0・40歳延びている。生活習慣で大切なこ



とは、外出する、交流する、活動することで人や地域とつながることだと考えて事業に取り組んでいる。高齢者が外出する際の有効な支援策である高齢タクシークエストは、今年度から2枚同時に利用できるよう変更した。市内全域で実施しているいきいき百歳体操は、今年度11月末時点で73箇所、約1,100人参加している。

議員 小中一貫教育は、今後どのような流れで進め、それらが子どもたちにとってどのような効果をもたらすのか。

市長 令和10年度を目途に、施設一体型小中一貫教育校をまずは金浦中学校区に開設することを目指している。さらに、新吉中学校区、神島外中学校区に、施設一体型小中一貫教育校を開設していく。